

2019年4月5日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 掛川 三千代

ケニア国モンバサ経済特区開発事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2019年3月22日(金) 14:00~17:59
- ・場所：JICA 本部 (1階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、掛川委員、鈴木委員、長谷川委員、林委員
(石田委員はメール審議にて参加)
- ・議題：ケニア国モンバサ経済特区開発事業協力準備調査に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) ケニア国モンバサ経済特区開発事業準備調査ドラフトファイナルレポート
 - 2) Environmental and Social Impact Assessment for the Power Supply Component of the Mombasa SEZ Development Project
 - 3) Resettlement Action Plan Study for the Power Supply Component of the Mombasa SEZ Development Project
 - 4) DFR Ch11_付属資料 B
 - 5) SEZ CEMC Plan
 - 6) 回答表及び別添資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第101回委員会)

- ・日時：2019年4月5日(金) 14:00~16:18
- ・場所：JICA 本部(1階 111・112 連結会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

社会配慮

1. 土地所有権の整理が長引く場合、ケニア送電公社（以下、KETRACO）は施工管理計画を見直し、基本方針として、補償が実施される前に着工しないように、JICA は、KETRACO に申し入れること。
2. 送電線ルート上の Tree shrine（神聖木）については、詳細設計時にまずは伐採回避を検討すること。

以上